



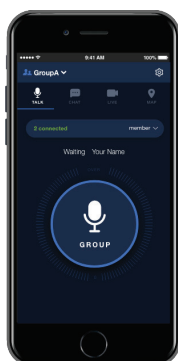
明治大学ラグビー部

Buddycomを導入して良かったこと

どこにいても会話ができるため 時間に余裕が生まれ、 毎日充実した90分になった

教育機関

スポーツ



明治大学は朝の練習を実施しており、6:30~8:00という短く限られた時間でしか練習ができません。その運営をする中で、選手の給水場所や次の練習を実施する場所を指定する際にBuddycomをインカムのように使用することで、練習の運営がスムーズに進むようになりました。

以前は、ラグビー部の練習中に怪我人が発生した際、学生スタッフが大きな声で離れているメディカルスタッフを呼ばなければなりませんでした。Buddycomを導入したことでより早く現状を伝え、対応することが可能となりました。

 buddycom

Buddycom バディコム





導入前の課題

選手が練習中に怪我をした時に、より早くメディカルの方とスタッフが情報連携し、選手の怪我の対応をスムーズにしたいという課題がありました。その課題を解決するためには、動いてもコードが邪魔にならないBluetoothで繋がる「インカム」が必要でした。

導入した理由

4年ほど他社インカムアプリを利用しており、経年劣化のため買い替えが必要になりましたが、どれも高価だったため検討していたところ、神鳥監督がブラックラムズ東京のご担当者さまからBuddycomを紹介してもらったことがきっかけです。



ラグビー部の練習にて、 怪我人対応や練習 の運営でスタッフの迅速 な対応に

明治大学ラグビー部は、全員が参加できる平日の朝90分間の限られた練習時間の中で、時間によっては選手90名ほぼ全員がグラウンドにて練習を行うにも関わらず、監督・コーチ・メディカルスタッフは合わせて7名と学生スタッフ7名だけで練習運営を行っております。

メディカルスタッフ1名だけの目では、練習している全ての選手を監視することが難しく、どうしても見落としてしまう場面もあり、何か起きた際にすぐに駆けつけられないこともありました。

そこで、メディカルスタッフと学生スタッフがBuddycomで連携することでグラウンド上の隅々まで目が届くようになり、リアルタイムに選手たちの現状を伝えることができ、怪我人の対応がより迅速になりました。監督・コーチがすぐに選手へ指導できる大学日本一になるための環境作りにつながっています。



導入検討中の方へメッセージ

コミュニケーションツールとして素晴らしいものだと考えています。会話をアプリ上に残すことができるので、他校の海外チームとの練習試合などでも打ち合わせ等でコミュニケーションが取れやすそうです。



Buddycomだから出来たコト

Buddycomには専用のイヤホンマイクが多数あり、Bluetooth/有線、耳掛け/遮音タイプなど、使用場面や使用する人の使いやすさに合わせて選ぶことができますので助かりました。



オススメできる点

1年生が4年生の話していることがわからなかったり聞き返せないことがあるので、アプリ上で会話の履歴確認ができるの点がおすすめです。今日一日何があったのか改めてトレーナーが確認するのも便利です。

 **SCIENCE ARTS**

株式会社サイエンスアーツ

WEB: www.science-arts.com

Service: www.buddycom.net

お問い合わせ: info@science-arts.com

